



かとう

第56号
2021.2

市議会だより

11月臨時会・12月定例会



～幻想的な自然の絶景～

播磨平野の街並みが今まさに雲海に包まれる
前日との寒暖差が大きいときに発生しやすい雲海
加東市の雲海スポットにぜひ一度お出掛けください
【五峰山光明寺駐車場から撮影】

2月8日臨時会があります

2月臨時会・3月定例会 KCVIにて生放送、録画放送を行います ぜひご覧ください

コロナ対策を引き続き強化

～加東市民病院経営支援・新生児給付金・公共交通対策～

11月臨時会を11月5日(会期1日)、12月定例会を11月30日(会期25日間)に開会し、提案された新型コロナウイルス感染症対策に対応する令和2年度各会計補正予算や条例制定・改正を原案通り可決した。また12月定例会第2日の一般質問では、11名の議員が市当局の考えをたどした。

11月臨時会

一般会計補正予算(第7号)

【問】公共交通対策事業の目的や金額の根拠は。

【答】コロナ禍でも減便せず運行していただいている路線バス事業者への補助である。金額は兵庫県の方式により積算した。

【問】高速バスも利用者が減っていると思うが対象になるのか。

【答】県の方針で、県境をまたぐバスは対象にならない。

【問】中央図書館のトイレの改修に着手するのは良いことと考えるが、単なる洋式化でなく快適に過ごせるトイレという観点を持って欲しい。

【答】予算の範囲内でできる部分は検討していきたい。

【問】新生児臨時特別給付金給付事業で新生児に10万円を支給する際、妊産婦への臨時特別給付金5万円を受け取られた方から差し引く必要はないのでは。

【答】合計支給額が10万円で公平となるようにしている。

全会一致で可決

12月定例会

一般会計補正予算(第8号)

【問】新型コロナウィルスワクチン接種体制確保事業とは。

【答】ワクチン接種に備え、あらかじめシステム改修・クーポン券発送の準備などを進めておく事業である。

【問】他の施設や民間の医療機関に対して行っていない、コロナでの減収の補てんを市民病院に限って行う理由は。

【答】世間一般でも受診や検診を控える傾向があり、収益が悪化している状態だったので加東市の病院として医療体制を守っていく必要があり、補助すべきであろうという考えに至った。

反対討論

民間医療機関を含め、他では行っていない減収の直接補

てんを、市民病院にだけ行うのはおかしいので反対する。

(藤尾)

賛成討論

病院は経営努力をされており、コロナでの患者減は致し方ないので賛成する。

(大畑)

賛成多数で可決

条例改正

下水道条例等の一部改正

効率的な下水道事業の運営を図るため、農業集落排水事業等で整備した下水道を公共下水道に接続・整備しようとするもの。

全会一致で可決

都市計画下水道事業受益者負担金条例の一部改正

農業集落排水施設等の公共下水道への接続にともない、市内で異なっていた受益者負担金と分担金を統一しようとするもの。(550円/m²)

全会一致で可決

11月臨時会・12月定例会での一般会計補正予算表

		主な事業
11月臨時会	一般会計補正予算(第7号)	公共交通対策事業(路線バス補助)150万円 市職員のテレワーク環境整備802万円 新生児臨時特別給付金給付事業(令和3年3月31日まで出生の場合10万円給付)2510万4千円、中央図書館トイレ改修(設計)120万円
12月定例会	一般会計補正予算(第8号)	介護施設等の新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援194万9千円 病院事業会計への補助1億3856万4千円 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保1054万5千円 滝野東小学校外壁改修2611万4千円

滝野文化会館を地域交流センターへ

地域交流センター条例制定

滝野文化会館を、令和3年4月1日以降、文化会館から生涯学習施設として供用開始するために制定する。

【問】今までは制限のなかった営利目的の事業、実費相当額を上回る入場料を徴収する場合、政党や宗教の勧誘活動を行う場合、使用が許可されなくなる。その理由は。

【答】市が直接運営する生涯学習施設としての性格を考えた。

【問】政治や宗教の勧誘活動の有無などはわかるのか。

【答】不特定多数の方を対象にするかどうかなど、利用申込の際にヒアリングを行いながら運用する。

【問】いままで加東文化振興財団が管理していたが、今後はどの部署が管理するのか。また、運用の状況は。

【答】滝野公民館で運営する形を考えている。今までも音響や照明については、専門の業者に委託して運営しており、その点で変わることはない。

（総務文教常任委員会に付託→P4）

反対討論

現状より厳しい利用制限をかけることにより、これまで使用できていたホールでの2行事・会議室での17行事ができなくなるなど、全く市民の利益につながらない。また、政党の勧誘活動などについても、「勧誘を伴わない後援会活動」などは現実的ではなく、運用が極めて困難であるので反対する。（大畑）

賛成討論

社会教育法の趣旨にのっとり、適切な運用を期待し賛成する。（高瀬）

賛成多数で採択

体育館（社会教育施設）に空調を設置

体育施設条例の一部改正

社第一体育館、社武道館、滝野体育センター、滝野総合公園体育館（スカイピア）に空調機器を整備することにもない、1台・1時間当たり650円の料金を徴収しようとするもの。

【問】1台当たり650円とのことだが、各施設には

何台空調機器が設置されるのか。

【答】総合公園体育館（スカイピア）は4台、滝野体育センターは3台、社第一体育館と社武道館は2台となる予定である。

（総務文教常任委員会に付託→P4）

全会一致で可決



スカイピア

公の施設の指定管理者の指定（加東アート館）

【問】赤字にならないよう収支計画などをしっかり審査したのか。

【答】審査会で収支計画も含めて審査した。

（産業厚生常任委員会に付託→P7）

全会一致で可決

土地取得の件

Bio南側にバスターミナル等を整備するため、土地を購入しようとするもの。

◇地積 5142.69㎡

◇取得予定金額 9230万9058円

反対討論

タクシーの利用もない中、バスターミナルは不必要であり、取得の意味がないため反対する。

賛成多数で可決（北原）

議会諮問第2号

人権擁護委員候補者の推薦

片岡 静代氏（厚利）

全会一致で可決

12月定例会 議決結果一覧（賛否の分かれたもの）

○・・・賛成 ×・・・反対

議案番号	議案名	北原	別府みどり	鷹尾直人	廣畑貞一	古跡和夫	大畑千代	高瀬俊介	長谷川幹雄	石井雅彦	岸本眞知子	小川忠市	小紫泰良	藤尾潔	桑村繁則	山本通廣	井上茂和	議決結果
第74号	令和2年度一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決（賛成14 反対1）
第78号	令和2年度病院事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決（賛成14 反対1）
第87号	地域交流センター条例制定	×	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	可決（賛成10 反対5）
第99号	土地取得の件	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決（賛成13 反対2）

※その他の議案は全て全会一致で可決した。

福田地区に自主運行バス 市内4箇所

付託議案審査

地域交流センター条例 制定

【制定理由】 令和3年4月1日から、加東市滝野文化会館を生涯学習施設として供用開始するため。

【問】 政党又は宗教の勧誘活動を行うときの判断基準が難しいのでは。

【答】 難しいが、一律的に除外するのは本来の趣旨からは反すると考える。

【賛成討論】 施設の使用を許可しない文言の一部があいまいであるが運用基準等で明確にすることを期待し賛成する。

賛成多数で可決
(高瀬)

正 体育施設条例の一部改正

【改正理由】 社第一体育館、社武道館、滝野体育センタ

1及び滝野総合公園体育館の空調機器整備に伴い、冷房使用料を、1台当たり1時間650円と定めるため。

【問】 使用料が高いのでは。
【答】 電気、ガス使用料金の実費相当であり、近隣市より安い料金設定である。

賛成多数で可決

福田地区自主運行バス

【内容】 福田地区と運行ルートや運行ダイヤなどを協議して、令和3年4月の運行開始を目指している。

◇対象者 福田地区にお住まいの方

◇運賃 地区内 100円
地区外 300円

◇運行ダイヤ(祝日は休止)
■毎週火曜日 屋度、東古瀬、東実

公の施設の指定管理者の指定(やしろ国際学習塾)

◆指定管理者名
公益財団法人加東文化振興財団

◆指定期間

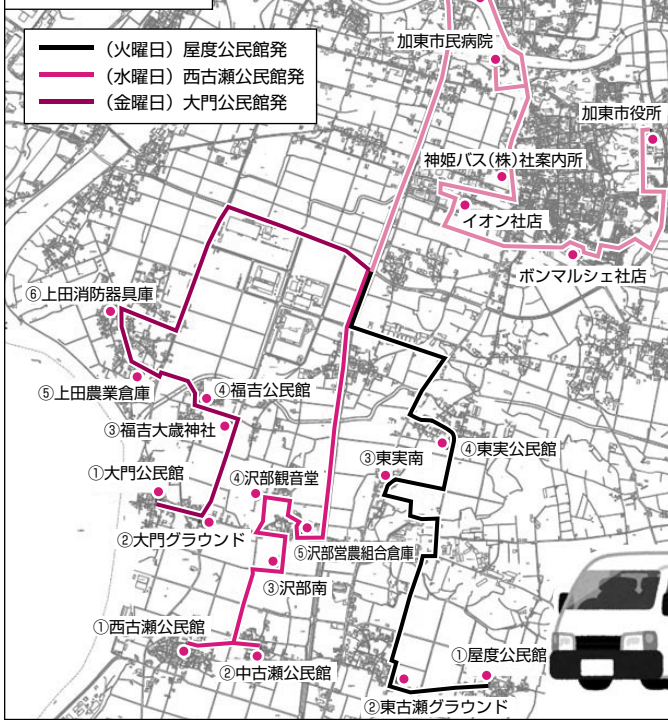
令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

【問】 選定にあたっての合格最低点は。

【答】 700点満点の420点である。なお、加東文化振興財団は650点である。

賛成多数で可決

運行ルート図案



【問】 福田地区の民間病院で無料バスが出ているが自主運行バスは必要なのか。
【答】 病院受診だけでなく、福田地区内の方の移動手段

◇運行便数 4便/日
(2往復)

■毎週水曜日 西古瀬、中古瀬、沢部団地、沢部
■毎週金曜日 大門、福吉、上田

を確保するために導入しようとするものである。
【問】 ルート決定の検証は公表しているのか。
【答】 公表していないが、福田地区住民への聞き取り調査で決定した。運行後にバス利用者アンケート調査を行い、必要ならば、ルート変更を検討したい。



東条地域の小中学校閉校後の 生涯学習施設の活用方針案

〔趣旨〕 将来的な財政負担を抑えつつ、安全で利用しやすい施設へと再編していく必要があることから、

① 地域コミュニティの場の確保
② 防災機能の確保
③ 教育・公共目的での活用以上の3点から検討し、地域と協議していく。

〔問〕 閉校後の活用検討委員会は今回開催したのか。
〔答〕 3回行った。

〔問〕 ハザードマップで浸水想定地域であることを委員会で説明しているのか。
〔答〕 説明している。

〔問〕 東条西小学校校舎跡地利用は福祉団体となっているが。
〔答〕 社会福祉法人も含めて、できるだけ地元と市内の団体を考えている。

〔問〕 避難所なども変更となるが、防災課との協議はされているのか。
〔答〕 協議済である。

〔問〕 東条学園でアフタースクールを行えないか。
〔答〕 東条学園は教育施設優先と考えている。

東条地域のアフタースクールの運営について

〔運営方法〕 東条東小学校区、東条西小学校区を合わせ、1か所で実施。

〔実施場所〕 現東条東アフタースクール「東条東げんきクラブ」及び東条東小学校体育館を利用して実施。なお、東条学園整備後は、東条東アフタースクール「東条東げんきクラブ」及び現東条東小学校の教室を利用。

〔問〕 東条学園でアフタースクールを行えないか。
〔答〕 東条学園は教育施設優先と考えている。

〔問〕 東条学園でアフタースクールを行えないか。
〔答〕 東条学園は教育施設優先と考えている。

窓口手数料等のキャッシュレス決済の導入について

〔内容〕 市税及び国民健康保険税のスマートフォン決済に加え、手数料及び使用料等におけるキャッシュレス決済を導入。

◇対象 住民票等手数料、公民館・体育館・グラウンドほか使用料等

◇利用開始時期 令和3年度前半

◇利用できるアプリ(予定)



〔問〕 近隣市で導入している自治体はあるのか。
〔答〕 近隣市ではない。

〔問〕 WAONの導入は。
〔答〕 今回の端末機と別種類の端末機となり、導入費用が高く、決済手数料も上がるので見送った。

将来における小野クリーンセンター焼却施設廃炉費用の負担について

〔内容〕 小野クリーンセンターは、1989年（平成元年）から稼働しているが、建物の耐用年数は50年、かつ、地元小野市天神町との協議で施設の設置期間が2039年（令和21年）までと定められている。大規模な機械設備の更新時期が約10年後に迫る中、新たな施設の建設に向け、具体的な検討を進める必要がある。構成市（加東市・小野市・加西市）の現施設廃炉費用負担について協議していく。〔案1〕 開設時から撤去時までのごみ搬入量で按分。〔案2〕 初期費用及びその後の資本的支出額（修繕等全額計上）で按分

その他の 所管事務調査項目

- 第3期加東市教育振興基本計画
- バスターミナル整備事業の進捗状況
- 第2次加東市環境基本計画
- 加東市協働のあり方ガイドライン

市の素案

東条東小学校

- 北側校舎(2階建)…地域コミュニティの活動拠点、避難所及び防災備蓄倉庫・地域子ども教室、アフタースクール等の施設として改修、活用
- 南側校舎(3階建)、体育館、プールは取り壊し。

東条西小学校

- 体育館を避難場所及び学校教育活動を支える施設に改修して活用
- 校舎、プールは取り壊し。校舎跡地は福祉施設として活用予定

東条第一体育館

- 長寿命化耐震改修を行い、活用

東条第二体育館

- 取り壊し
(体育館機能は第一体育館に集約)

コミセン東条会館

- 廃止、取り壊し
(コミセン機能は主に東条東小学校に集約)

東条地域全体では、
バレーボールコート5面分の
体育館を確保

公の施設の 指定管理者が決定！

付託議案審査

杜福祉センター！ ラポートやしろ

【問】審査の判断基準で「高度の基本運営」についての内容は。

【答】募集要項に記載の自主活動があるのか、損害リスクに対してどのような備えがあるのか、また、地域との関わりや地域貢献活動があるのかを評価している。

全会一致で可決

アクア東条

【問】引き続き兵庫県釣針協同組合が指定管理者になっているが、新しい提案は。

【答】SNSやYouTubeを活用し、広く発信していきたいと提案があった。

全会一致で可決



滝野にぎわいプラザ

【問】ふるさと振興協会から加東市観光協会に代わった経緯は。

【答】以前から、テナントに観光協会がいた経緯がある。施設の賑やかさを促しているのが観光協会であった。テナントだけでなく、施設全体の管理及び、全体の賑わいをという申請があった。

【問】観光協会としての今後の販売等の考えは。

【答】観光物産以外では、イベントがなくても人の往来を促すようSNSやフェイスブックを活用して、地元で採れた野菜などを販売する提案もあった。

【問】県道との高低差があるが、他市から訪れた人には、施設の場所が分かりにくいので、PRをどう捉えているのか。

【答】道路から認知されにくい課題を持っているので、施設からの発信も含めて認知しやすい仕掛けづくりを考えていく。

【問】審査の判断基準の当該施設特有の課題とは。

【答】平時の賑わいがないのが課題である。少し動線から外れていることから、自転車業界大手の「あさひ」と連携して自転車スポーツのメッカにするなど、SNSやその他を活用してPRして行く。物販も含め、道の駅的なイメージで人の往来を促したい。これから具体的に進めて行く。

全会一致で可決



ぽかぽ



【問】審査の判断基準の中で、4法人による連合体の方が優れている項目があるが、ふるさと振興協会・観光協会を選定した決め手は。

【答】温浴施設を経営されてきた実績の有無が1点。市外に向けた観光だけでなく、市内の方に向けた温浴施設であるかどうか。この2点を兼ね備えているかどうか、選定の決め手になった。

【問】ぽかぽの運営実績があったとのことだが、ここ数年赤字続きで実績があるとは思えないが。

【答】今後、ふるさと振興協会に加えて観光協会が入って運営していけるのか、選定委員と様々な議論があった中で今回の指定管理者が決まった。

全会一致で可決

委員会紹介

加東市議会には、議会運営に関する議会運営委員会、市政の各分野において専門的な調査研究を行う2つの常任委員会が設置されています。今回は、それぞれの委員会の活動内容についてご紹介します。

議会運営委員会は

会期や議事日程、議案や請願・陳情などの審議方法など、議会運営全般について協議しています。

また、今後2年間は、①大規模災害などの非常事態やコロナ禍においても議会の機能を維持するため、あらかじめ議員等行動指針を定めた業務継続計画「議会BCP」の研究。②市民や団体との意見交換を活発に行うための手続きの見直し。③ほとんどの地方議会で支給されている政務活動費の制度化を検討します。



総務文教常任委員会は

- ・まちづくり政策部（企画や総合的なまちづくり、人事）
- ・総務財政部（総務、財政、管財、防災）
- ・市民協働部（市民生活、人権、参画と協働、環境）
- ・教育委員会（学校教育、生涯教育、子育て支援）

などを中心に所管に関する事務調査を行っています。

今年度は「義務教育学校としてスタートする教育形態及び運営の実態調査」「コミュニティースクールの方針及び運営調査」「公共交通の研究及び実態調査」「子育て支援の研究及び実態調査（特に保育士の確保策）」について重点項目と捉えて、調査研究を進めていく予定です。



産業厚生常任委員会は

- ・健康福祉部（福祉総務・社会福祉・高齢介護・健康）
- ・産業振興部（農政・農地整備・商工観光）
- ・都市整備部（都市政策・土木・加古川整備）
- ・上下水道部（管理・工務）
- ・病院事業部（総務・医事・経営企画）

などを中心に所管に関する事務調査を行っています。

今年度は、「空き家対策について」「農業振興について」「国・県道の修繕要望後の検証」「各種団体との意見交換会」を重点項目と捉えて、調査研究を進めていく予定です。



議会報告会の歩み

平成23年に加東市議会基本条例を制定し、初めて議会報告会を開催しました。

議会報告会は、この条例に基づき議会自らが積極的に地域に出向き、直接、市民に対して議会活動の状況を報告し、市政に関する情報を提供するとともに、市民の関心や意見を直接お聞きする貴重な機会と位置づけて実施しています。

以降、年に1回～3回各地域(社・滝野・東条地域)で開催し、令和元年までに19回を重ねました。

また、最近では、第2部を「車座で議員と語ろう」と題し、参加者と議員が4つのグループにわかれ、小人数で本音で語ってもらうコーナーを設け、いただいたご意見を市に伝えました。

最初少なかった市民の皆様も、次第にご参加いただくようになってきています。

去年はコロナ感染防止のため中止を余儀なくされましたが、本年は開催すべく準備を進めています。



第1回とどろき荘



第9回上三草公民館



第14回上滝野公民館



第18回南山活性化支援施設ミナクル

～こんなことが実現しました～

議会報告会でいただいたご意見は、議会での調査研究を進めたり、市へ要望としてお伝えしたりしています。

以下のような項目が改善されるようになりました。

- 「ミナクル」への案内看板設置
- 道路の白線の引き直し
- 住環境に配慮した事業用太陽光発電の協議制



兵庫県産山田錦を広く発信する
「藤川禎次賞」の創設について

小紫 泰良 議員

問 兵庫県産山田錦を広く内外に発信するため、山田錦栽培に誇りを持って守り育てる農家、より高品質の味と香りを求めて挑戦する蔵元、杜氏を表彰する「藤川禎次賞」を創設してはどうか。

答 山田錦にかかる藤川禎次氏の功績を称える手段として、兵庫県に働きかけてきたこともあり、令和2年開催のブリュッセル国際コンクール日本酒部門である「SAKEセレクトション2020」において、兵庫県産山田錦を原料に使用し、優秀な成績を収めた酒蔵を「藤川禎次賞」として表彰することが決定していたが、コロナ禍の影響で令和3年10月に順延となった。

令和4年度以降は未定であることから兵庫県に藤川氏を称える手段を継続していただけるように要望していく。

〇道路の白線について

問 加東市内を走っていると、以前にも増して道路の白線が薄くなっているところが多いように感じるが、どのような基準で白線引き直しをしているのか。

答 センターラインがある交通量の多い幹線道路及び交通安全上危険と判断した箇所、地区などから要望のあった

箇所について現地を確認の上、優先順位を決めて実施している。

問 年長者のドライバーも多く、安全安心のためにも早期の白線引き直しをしてはどうか。

答 平成30年度からは、白線引き直しに特化した予算を配分しており、要望を上回る規模で引き直しを行っている。市道は総延長が約535kmと大変長く、短期間での引き直しは困難であり計画的に行っていく。

問 国道175号の白線引き直しの時期と規模は。

答 市から国へ要望し、実施時期は令和3年の春ごろから実施の回答を得ている。規模は加東市内の全線は無理と聞いているが、早期に全線の白線引き直しを要望していく。

その他の質問

〇マイナンバーカードの普及促進について

〇外国人等の交通安全対策について



交通弱者の生活を守るために

古跡 和夫 議員

問 公共交通機関の全くない地域での、交通弱者を救済することは地方行政の役割である。自主運行バスの週の運行回数と1日当たりの乗車人数は。また、社市街地乗合タクシーの1日の乗車人数は。

答 鴨川きよみずバスは週2日1日6便3往復し、令和2年度上半期で1日当たり平均398人、米田ふれあい号は週3日1日4便2往復、1日当たり平均723人、とうじょうあいあいバスは週2日4便2往復、1日当たり278人。社市街地の乗合タクシーは、7月から4カ月間で1日当たり平均405人。

問 自主運行バスのない地域での交通弱者の救済策は。

答 地域の協働で取り組む自主運行バスの導入など、市民の移動手段の確保に取り組む。

問 行政の手の届かないところを有償ボランティアNPO法人輝きクラブが外出支援サービスを行っているが、運輸局から燃料代以外は利用者から受けとらないようにと指導があり、赤字が続き困っている。各地域に存在する交通弱者を、すべて行政の施策でカバーできるとは思えない。南山から自転車で行き、バスで小野の産婦人科に通っていた人は、危険なのでこのサービスを利用すると聞く。行政の谷

間を埋めるNPO法人などに市として援助することはできないのか。

答 道路運送法に基づく許可を受けた有償の輸送サービスは、輸送の安全、旅客の利便性の確保が担保されサービス継続の可能性が高まる。NPO法人輝きクラブは、ボランティア輸送と介護保険サービスを利用した訪問型サービスDを合わせて実施されていると認識している。利用状況やニーズを踏まえ、高齢者等の移動困難者が快適に移動でき利用しやすい移動手段を確保するため、取組内容について検討している。ただし、ボランティア輸送では、輸送の安全や利用者保護という観点で道路運送法の担保がなされていないため、運行管理や整備管理をどのように行うのか、運転者の運転技術や知識をどう確保するのが課題となっている。市としては道路運送法に基づく福祉有償運送を基本とし、地域のニーズをより把握している社会福祉法人・NPOなどが、登録事業者となり活動できるよう側面から支えるとともに、新たな事業者の参加を促進するために支援制度を創設する。

その他の質問

〇社地域小中一貫校の少人数学級
〇国民健康保険税について

避難行動要支援者対策について



別府みどり 議員

問 災害等が発生した際に、自ら避難することが困難であるため、支援を要する人を避難行動要支援者とし、避難行動要支援者名簿が作成されているが、過去の災害等でこの名簿をもとに避難を誘導した事例はあったのか。

答 平成30年7月豪雨時に開設された緊急避難場所において、名簿に基づき避難を誘導したケースがある。名簿を活用した取組が今後、市内で広がるよう、ひょうご防災減災推進条例に基づき、要支援者を地域全体で支援し、共に避難できる仕組みを整えるため、専門職の協力を得ながら個別支援計画の作成や訓練の取組の周知・啓発に努める。

問 国が推奨する標準化された災害種別図記号による避難場所表示は、分かりやすく混乱のない避難行動につながるかと考える。加東市での避難場所表示看板やハザードマップへの反映は。

答 今年度ハザードマップの見直しを進めており、国土交通省の「水害ハザードマップ作成の手引き」に準拠する標準化された図記号については、ハザードマップや避難所表示看板など統一的使用するとともに、その意味を周知し、すべての方に分かりやすいように情報を提供していく。



〇空き家対策と移住支援について

問 空き家バンクの登録件数を増加させるための施策として、空き家等のお片付け支援事業を実施する市があるが、市の見解は。

答 空き家所有者が抱える問題のひとつに、家の片付けがある。専門家の協力は、空き家対策をより多面的に対応できるバックアップ体制の充実になり、空き家所有者の安心感にもつながる。で、空き家バンク登録数の増加につながる施策の一つととらえている。

〇小中一貫校開校へ向けての環境移行について

問 なめらかな環境移行への配慮や取組の工夫は。

答 各学校同士の連携を深め、人間関係の構築を進めてきた。開校後においても徐々に子供たちが学習環境に適応できるよう、段階的に学園内での交流を増やしていく予定である。

「コロナ禍の中、東条学園1年前倒しの危険性とその多額の経費について



北原 豊 議員

問 現在コロナ禍で、少人数学級が推奨されているにもかかわらず、あえて児童・生徒を密接、バス通学や給食で旧東条町中にコロナが蔓延する危険性が高くなると予想され、4・3・2制が良いとしても、1年生から4年生まで今の東条東小で学び、6年生は東条中学校に行くなら効果の早期発現が理由となるが、今回1年前倒しする必要性をお教え願う。

答 東条学園の開校時期については、昨年度東条東小学校と東条西小学校の保護者の皆さんを中心に何度も会合を持ち相談した結果である。

問 たった1年未満のことに、コロナ禍で税収も落ち込むなか、何百万の引越し代、何千万円のスクールバス代が発生するが、多額と感じ1年先送りしないのか、お教え願う。

答 東条学園の開校時期については当初の予定通り令和3年4月開校に向けた諸準備を進めている。

問 制服もなぜ、保護者への経済的な配慮から、ほそごう学園のように1万円程度の標準服にできなかったのか。また経済的に苦しい家庭のために、5、6年に補助等は考えているのかもお教え願う。

答 制服についても、関係者である保護者の皆さんや教員で構成する標準服

等検討部会を2カ年にわたって開催して検討した結果、制服のデザインや着用する学年その運用方法等の詳細や、費用についても決定した経緯がある。このことから、教育委員会としても皆さんが決定した内容を尊重したいと考えている。学用品準備金の前倒しやその他の補助は考えていない。

〇東条学園と地域小中一貫校で生きる力となる重要な施設について

問 東条学園や地域の小中一貫校に、それぞれ今後人生を生きる上で重要なことを教えてくれ、生きる力となる畑や、うさぎやチャボなどを飼う場所や、水禽舎(すいきんしゃ)があるのかどうかお教え願う。

答 東条学園においては、飼育小屋を設置した上での動物の飼育は考えていない。地域域小中一貫校における詳細については、これから設計に向けて協議を進めていく。

その他の質問

〇小中一貫校における4年生のリーダーシップがとれ、糧になる具体例
□購入したオゾン発生装置が業務用でない上、業務用より価格が倍近く高い件

水稻農業施策について



大畑 一千代 議員

問 令和2年産山田錦は、15%削減要請があった。コロナ禍による日本酒消費の激減から、さらに大幅な削減が要請されると予想しているが、来年産の山田錦・うるち米の作付面積は、どの程度になる見込みか。

答 県農業活性化協議会からの通知では、主食用米は102ha増加し666ha。山田錦については、J Aと酒造会社が調整中でまだ示せない。2月ごろになる見込み。

令和元年産山田錦の在庫が今もある状況で、令和3年産はかなり減少すると推測する。

問 うるち米は7%から10%程度、山田錦は作付面積を減らされた上に異常気象や秋ウンカの被害もあり、収穫量も減少した。また、買い取りの仮渡価格が20%から30%程度下落している。これが来年も続くと思われる。山田錦の産地崩壊を防ぐためにも、農家への支援が必要と思うが。

答 県に対しては山田錦の産地である近隣市町とともに、国へはJ Aが支援を陳情している。国県の支援を踏まえ、集荷単価や面積減に応じた加東市独自の支援をすべきと考えている。

問 新型コロナウイルスの感染者・死者数が、欧米諸国に比べ日本や東南アジア諸国で少ないのは、コメや野菜の消費量が多いからだという説がある（東京農業大学客員教授 渡邊昌氏）。国や地方、J Aとともに、このことも広く紹介し、コメの消費拡大に取り組んでほしい。

答 渡邊教授の説の正確性も検討しながら取り組んでいく。

〇コロナ禍と少子化対策について

問 コロナ禍の影響で妊娠控えが続いていると聞けが、市での妊娠届の状況は。

答 県の届出件数は12.4%減だが市は6.9%増加している。

問 少子化対策の一つとして来年度以降においても、新生児に対する臨時特別給付金を継続して実施し、子どもを産み育てようとする市民を支援していくべきでは。

答 本年度から実施している子育て世帯スマイル交付金（5歳まで年3万円）や、来年度から見守りを兼ね、おむつなどの育児用品を育児経験のある配達員がお届けする事業を予定している。

鳥獣被害対策の推進について



鷹尾 直人 議員

問 市民が「狩猟免許なし」でアライグマ・ヌートリアを捕獲できる制度を全国の多くの自治体で導入している。本市でも、令和元年度に作成する「鳥獣被害防止計画」、2年度に作成する「アライグマ・ヌートリア防除実施計画」にも取り入れて、市民の協力を得ながら個体を減らす取り組みをすべきと令和元年9月市議会で、提案したが昨年度に見直された計画には記載がなかった。改めて質問をする。記載しなかった理由は何か。

答 当計画には、「アライグマ・ヌートリアの捕獲」は特定外来生物法における国の確認を受けた「アライグマ・ヌートリア防除実施計画」に基づき、地域住民等と協力し、効果的に捕獲・防除を行うと記載している。

問 狩猟免許なしで市民に協力してもらってアライグマ・ヌートリアを捕獲する方法を検討できないか。

答 鳥獣被害防止計画策定時に丹波篠山市へ視察を行い、捕獲方法について勉強をした。市民の捕獲活動のメリツト・デメリットを踏まえたうえで、市民の安全性等を考え、現在の処理方法を進めることと判断した。捕獲を推進するために、今まで以上に情報発信に努めるとともに、捕獲要望の手続きの

簡素化など被害対策を行いやすい環境づくりを検討している。

問 イノシシ檻の設置や閉鎖している檻の開扉時期の考え方は。

答 里に来て被害を加える加害個体は、群れで行動するため、群れ全体を一度に捕獲する必要がある。そのためには、侵入防止柵が設置されているとより効果があるため、整備状況を見て行う。また、閉鎖している檻の開扉時期については、再び被害が出始めた時期に、地区からの要望により開扉する。

問 市民から相談のあった、道路から侵入するイノシシ被害防止対策として、福井県が実施している侵入経路にグレイチングを設置する対策など、効果のある対策を検討したか。

答 侵入防止柵を整備した地区に、他地区から道路を通過してイノシシが侵入し、居つく事案があったが、潜み場となっていた茂みを刈り取るにより対策できた。また、鳥獣対策ポーター派遣支援事業で活動を行っている民間の専門サポーターから、道路沿い両側に侵入防止柵を設置すると効果があると聞いている。また、今年度から実施している獣害ベルトの整備なども活用して対応する。

楽しみながら取り組む 健康アプリ導入に向けて

長谷川 幹雄 議員



問 これまでのサンサンチャレンジの参加人数と比較して達成者数は伸びているのか。

答 平均参加者数240名で、最近5年間の平均では達成者が336人で参加者の14%の方が目標を達成されている。また3キロは達成できなかったものの、チャレンジ期間内に体重が100グラムでも減少した方は、5年間の平均で117・4人と約5割となっており、年末年始の太りやすい時期のチャレンジを考えると、かなり良い数字であると認識している。

事業の性格から、達成率が年々上がるといえるのではなく、一定の達成者を毎年輩出することが重要と考えている。

問 年間を通しての取り組みをしないのはなぜか。

答 年末年始に体重増加を繰り返す状況が数年続くことで、知らず知らずに肥満になっていることが多いこと。あえてこの時期にチャレンジすることで体重増加を抑制する効果があること。望ましい生活習慣の定着が図りやすいとの専門家の意見に基づいて実施しているためである。

問 まちぐるみ総合健診での健康者の輩出につながっているのか。

答 平成27年度になるが、男性では中

性脂肪の低下がみられ、女性では腹囲減少、脂質改善、血糖コントロールの指標であるヘモグロビンA1cの上昇低下が認められている。

問 健康アプリ導入の考えは。

答 サンサンチャレンジ事業などの教室参加者を対象とし、インセンティブを活用した事業を行っている。さらなる健康寿命延伸に向け、個人が主体的に健康づくりに取り組めるよう健康無関心層を含めた幅広い対象者が参加できる体制整備が必要と考える。

実際に活用されている市町から、活用状況や効果、導入経費とランニングコスト、新たに加わる業務内容などの情報把握を行ったうえで、導入の可否を判断する。



特別養護老人ホームの現状と対策について

石井 雅彦 議員



問 市内の要介護3以上の方は現在どれくらいおられるか。

答 令和2年9月末日現在で、要介護3以上の方は653人。平成29年9月末と比較して29人減少していて、近隣市町と比較しても一番低い状況である。

問 市が把握されている待機者は各施設どれくらいおられるか。

答 令和2年4月1日の申込者数で、社すみれ園が110人、伽の里が45人、フロイデ滝野が96人、地域密着型フロイデ滝野が59人、合計で310人となっている。そのうち死亡者、転出者、複数の施設に申し込みをしている方などの重複を除くと、実人数は122人となっている。各施設の待機期間は短くなっており、概ね半年から1年以内に入所できている。

問 「小野長寿の郷」構想のように市でも介護施設を呼び込むなどの対策は考えられないか。



社すみれ園



伽(とぎ)の里

答 市においても高齢者の増加が見込まれ、令和7年には65歳以上の人口が1万964人、高齢化率27.4%になると推計しており、今後認知症高齢者や要支援・要介護者の増加、独居高齢者や高齢者世帯の増加が見込まれるが、施設に関しては近隣市と比較しても多い状況であり、今年度末にはサービス付き高齢者向け住宅30室の入居も始まるなど、介護サービスの選択肢が多くなる状況である。



フロイデ滝野



第2次加東市総合戦略の
「特色ある教育作戦」と推進体制について

廣畑 貞一 議員

問 「加東の未来を担う若い世代の希望実現と親子の絆づくり」の中で「特色ある教育作戦」について問う。

答 ICT教育については、総合戦略で目標としたタブレットPCの導入を大幅に前倒し、9月末に児童生徒一人1台の整備を完了した。これにより、市内の学校同士をつないだ交流学习、また、出席停止となった生徒へのオンラインで授業配信など、コロナ禍の対応においても活用を広げている。

英語教育の充実については、全小中学校にALT(外国語を教える外国人講師)を配置している。中学校卒業時には英語を臆せず話せるコミュニケーション能力の育成を目指し、独自の取組を進めている。小学校では、全授業で児童が生きた英語に触れる環境を整えている。

また、姉妹都市オリンピア市との交流をはじめ、市内の兵庫教育大学の留学生や視察団の学校訪問の受け入れなど、英語によるコミュニケーションや国際交流を深めている。さらに、今年度から英語検定EPAやGTEC Juniorなどの民間テストを実施し、児童生徒の状況把握や授業改善、小中英語教育の円滑な接続のために活用している。

このような取組実践の中で、英語教

育と国際理解教育の充実に努めている。

部活動については、市立の全中学校に5人の部活動指導員を配置、2人の部活動外部指導者を派遣し、生徒への専門的な技術指導を通して活動の活性化を図っている。また、来年度は部活動指導員を8人に増員する予定である。さらに、教育を支える手立てとして、教育活動や児童生徒支援の充実のために積極的な人員配置に努めているのも本市の特色である。

問 SDGs(エスディー・ジーズ)「持続可能な開発目標」を利活用する考えはあるか教育委員会と市一般行政に問う。

答 SDGsの17の目標の一つに、「質の高い教育をみんなに」がある。現在地球上で起きている様々な社会の問題を私ごととして捉え、学校ならではの協働的な学び合いや、地域の方々をはじめ多様な他者との協働した探求的な学びを通して、子どもたちが持続可能な社会の創り手として必要な資質・能力の育成に努める。

さらに、加東市職員の全員を対象として、SDGsの研修を開催し、職員全員に趣旨を十分に理解させた上、検討していく。



健康ポイント制度について

岸本 眞知子 議員

問 健康ポイント制度は、健康づくりのための運動や健康診断の受診に対して、ポイント付与を設けることで、健康づくりにお得で楽しく無理せずに取り組める仕組みとなっている。市の取り組みは。

答 加東サンサンチャレンジやまちかど体操教室等を対象に、紙の会員証を活用した取組を行っている。

問 第2次北播磨広域定住自立圏共生ビジョンの「健康」推進事業の取組として、加西市が行うスマホのアプリを利用した「加西健康アプリ」に多可町が参入し、「加西・多可健康アプリ」として健康ポイント事業をスタートされている。市としての取り組みの見解を。

答 健康アプリの導入については、活用状況や効果、導入経費とランニングコスト、新たに加わる業務内容等の情報把握を行い、導入の可否を判断する。

○不登校児童生徒たちの健康診断について

問 不登校の児童生徒たちが持つ健康上のリスクは、身体的にも精神的にも学校に通うことができる子たちと比べて高いのではないか。健康診断をされているのか。

答 令和元年度、不登校児童生徒51人のうち何らかの検診の未受診は10人である。未受診者には、学校医の医療機関での受診を保護者に促すが、学校も検査の予備日を設定したり、学校に来たときに保護者の了解を得て、学校医の医療機関に連れて行くなど、受診できるように努めている。今後、不登校支援とともに、適切に健康診断を受け体制を整え、保護者と連携して、児童生徒の心身の健康の保持増進に努める。

○祝日(休日)のごみ回収について

問 週2回の可燃ごみの収集が、コンスタントに収集できない日は、ごみステーションも悲惨な状態になっている現状がある。小野市同様に、祝日(休日)の可燃ごみ収集は実現できないか。

答 小野市と加西市では、月曜日と木曜日エリアと、火曜日と金曜日エリアに分割して収集されている。本市では、全域で火曜日と金曜日に可燃ごみを収集している。月曜日の収集がなく、祝日との重複回数が限られている。また、市内全域で、同一曜日の収集で、祝日収集の有無によって、収集頻度に格差は生じない。



兵庫教育大学との訴訟の総括について

藤尾 潔 議員

問 9月に兵庫教育大学との訴訟の結果を受けて水道の負担金条例を改正したが、訴訟の結果をどのように受け止めるかという総括がなかった。

答 市としては条例にのっとり兵庫教育大学に水道料金を請求したが、理解が得られず訴訟となった。一番では市の主張が認められたものの、二審においては加入分担金に関する新たな問題が提起され、その部分について市の主張が受け入れられず、最高裁の上告審不受理の決定により、（結果として二審（控訴審）判決のとおり）判決が確定したということである。今後誤解を招かないように条例改正を行った。いずれにしても、兵庫教育大学とは、訴訟の結果如何を問わず協力関係を維持していこうと話し合いをしていた。これをもって総括とさせていただきます。

OGIGAスクール構想について

問 加東市では、コロナ対策によるOGIGAスクール構想の前倒しで、9月に児童生徒一人一台のタブレットパソコンを配付済みである。現場で有効活用できているのか。

答 調べ学習やタブレットドリル、密を避けるためのオンライン朝会などに活用している。毎日のように活用している教員が10%、週に3〜4回が13%、1〜2回が26%、月に数回が24%で担当教科や学習内容、教員のICT活用

指導力により差が生じているのが現状である。今後1〜2年をかけて活用能力の向上を図りたい。

〇小中一貫校について

問 9月に質問したときは、東条学園において従来の中学校入学式に当たる7年生時点での入学式を行うかどうか等が決まっていなかった状態だった。その後の行事も含め調整は進んだか。

答 6年生の卒業式に当たる前期課程修了式、また、後期課程へ進級する節目としての行事は実施する。運動会は1〜4年生、5〜9年生に分けて実施する。文化発表会は全学年で楽しめるような形で東条文化会館コスミックホールを使用して開催する予定。

問 社・滝野では併設型の一貫校として開校するため、「社中学校」「滝野中学校」が今後も存在することになる。小中一貫校開校時に新たな中学校ができるという認識なのか、今までの学校を引き継ぐ形になるのか。

答 小学校と中学校が組織としては継続していくが、施設一体型の小中一貫校として、9年間を一つとした教育課程を行う。

その他の質問

□保育・学童保育の申し込みオンライン化について

議会から市へ コロナ対策の提言

議会では、令和2年5月15日に、新型コロナウイルス感染症対策に対応するために「加東市議会新型コロナウイルス感染症対策連絡協議会」を設置しました。その後、11月24日に災害全般に対応できるよう「加東市議会災害対策連絡協議会」を設置しました。構成委員は正・副議長、議会運営委員会委員長、各常任委員会委員長の5名です。今後は、感染症対策に加え、風水災害や地震災害の緊急時にも対応できる体制になりました。

この度は、新型コロナウイルス対策についての全議員からの意見をもとに、災害対策連絡協議会で協議して、取りまとめた以下の5項目の提案を、12月24日に正・副議長が市長へ提出いたしました。



安田市長へ提言書を提出する小川議長、高瀬副議長

【新型コロナウイルス感染症対策への提言】

- 1 新型コロナウイルス感染者やその家族、医療従事者などへの不当な差別を防ぐため、「加東市新型コロナウイルス感染症の患者等の人権の擁護に関する条例」（仮称）を制定すること。
- 2 市民や事業者に対して、水道料金減免の期間延長を検討すること。
- 3 市民や事業者に対して、電気料金に係る補助金の支給を検討すること。
- 4 コロナ禍における市内企業への支援として、入札資格を当分の間、加東市所在の企業に限定する等の措置を検討すること。
- 5 新型コロナウイルス感染の早期発見による感染拡大防止のため、PCR検査を民間で行った場合や自宅用PCR検査キットを購入した場合、「PCR検査費用」の助成を検討すること。



2人のお子さんと来館中のママ

加東市の児童館は、子どもが喜ぶ催しが多く、スタッフの方も、子どもを気にかけてくれたり、気軽に声をかけてもらえて、子育てを助けてもらっています。

待機児童が多いイメージです。希望する園に入れない子が多いのでは？



30代女性



30代女性

男性が子育ての知識をつける機会が必要だと思います。二人三脚で子育てをしていくには、ママと同等のスキルが求められるのでは？

テーマは…「子育て支援」
やさしくこどものいえで聞きました



30代男性/20代女性

遊ぶ場所が充実している。子育て支援には満足しています。

子どもと一緒にいけるお店が少ない。



30代女性

医療費など子育て支援を近隣市で統一してほしい。

赤ちゃんから大人まで、各年齢別に使える施設があるといいな！



お孫さんと遊びの広場に参加中

社協さんで登録できる個人ボランティアで助け合っては？ボランティアセンターのサポートをする位置づけで、新しい情報も支援のヒントになるかも。

子どもが具合悪くなったときに、夜間救急や休日救急の受け入れが遠くで困りました。



30代女性

クイズ&アンケート募集

市民の皆様から、かとう市議会だよりへのご意見を聴かせていただくためクイズ&アンケートを行います。クイズに正解し、かつ、ご意見を書いていただいた方から抽選で5名様に、加東市カード会加盟店で使える1,000円分の商品券を差し上げますので、奮ってご応募ください。なお、当選者の発表は商品券の発送をもってかえさせていただきます。

クイズ □に入る数字は？

福田地区に自主運行バス導入で市内□箇所になります。

応募方法

6 7 3 1 4 9 3

加東市議会事務局
Q & A係

はがきに、
①クイズの答え
②市議会だよりや、市議会へのご意見
③住所・氏名
①②③をお書きの上、応募先までお送りください。

2月19日必着

3月 定例会の予定



日	月	火	水	木	金	土
	1 9時30分 定例会 (初日)	2 9時30分 総務文教 常任委員会	3 9時30分 産業厚生 常任委員会	4 委員会 予備日	5	6
7	8	9	10	11 9時30分 予算特別 委員会	12 9時30分 予算特別 委員会	13
14	15 9時30分 予算特別 委員会	16	17 9時30分 定例会 (一般質問)	18 9時30分 定例会 (一般質問)	19	20
21	22	23	24 9時30分 定例会 (最終日)	25	26	27
28	29	30	31			

上記の日程は変更になる場合があります。最新情報は、ホームページでご確認ください。ホームページはこちらから



編集後記

11月に議会内で役職の改選があり、今年1年間新たなメンバーで議会広報に取り組ませていただきました。よろしくお願ひします。「わかりやすくお伝えする」を頭におきつつ、「正確にお伝えしよう」とすると説明が長くなってしまうのが悩みの種です。時には説明の「断・捨・離」も必要なのでしょうけれど、そのためには必要なものを的確に見極める力が必要です。1年間精進してまいります。

その一つという訳ではないのですが、この編集後記を短めにして、上の議会日程・クイズの欄を広くとって見やすくしてみました。クイズへの応募（議会へのご意見を添えて！）お待ちしています。

（藤尾 潔）

議会広報委員会
委員長 藤尾 潔
副委員長 別府 みどり
委員 小紫 泰良
岸本 真知子
石井 雅彦
長谷川 幹雄
大畑 一 千代
古跡 和夫

発行 編集 発行
日 日 日
令和3年2月1日

〒673-1493
兵庫県加東市社50番地 / gikai@city.kato.lg.jp
TEL 079-543-0385 (通) FAX 079-542-7960